

演習事例シート作成の手引き

《 課題提出について 》

本研修は受講生の指導事例を使用して演習を行います。事例については、受講生が他のケアマネジャー等に対して指導を行った指導事例を作成してください。

以下の注意事項に留意して課題を作成し、更新研修の申込み時に郵送で提出してください。

【◆ 支援・指導を行った事例（指導事例という） ◆】

事例の対象について

利用者	在宅で生活しておられる方又は介護保険施設入所、グループホーム、サービス付高齢者住宅、ケアハウス、有料老人ホーム等に入居されている方、入院中で退院に向けて検討させている方のうち、要介護認定をうけている方
対象外	・要介護認定を受けていない方 ・自分が担当している方 ※上記の通り、あなたが「支援・指導を行った事例」が対象です。
バイジー	上記利用者を担当している介護支援専門員又は相談員等
バイザー	バイジーを支援・指導したあなた自身（主任介護支援専門員の資格取得者）

【◆ 注意事項 ◆】

利用者及び介護支援専門員又は相談員等のプライバシー保護のため、以下の例に従って記入してください。

利用者氏名	記号（すべて：Aさん）注意：イニシャルは使用しない。
介護支援専門員 又は相談員	記号（すべて：Bさん）注意：イニシャルは使用しない。
事業所名	記号（例：C事業所 D医院 Eデイサービス F市サービスセンター 等）
地域名称	記号（例：G県 H市 J区 K町等）
固有名詞等	固有名詞はすべて記号で記載する（例：L大学 M会社 等）
相談情報内容	バイザー及びバイジーの経験年数、利用者の年齢や要介護度等の状況については、相談を受けた時点の情報を記載する。

記入する項目について、以下を参考にしてください。

カテゴリー	カテゴリーは、主任介護支援専門員更新研修における「主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践」の科目であり、必ず選択する。
所属機関等	介護保険関係事業所の種類（例：地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護…）を記載する。
経験年数	相談を受けた時点での実務経験の通算年数を記載する。
利用者の自立度	「障害高齢者の日常生活自立度」「認知症高齢者の日常生活自立度」において、該当するランクを記載する。

※ 課題様式は『兵庫県介護支援専門員協会』のホームページからダウンロードできます。家族構成については手書きで記載してもよい。パソコンが使用できない場合は手書きで記載してもよい。

※ パソコンで記載する場合は、字体は「明朝体」で入力してください。

※ 原本は必ず1部、保管しておいてください。

【◆ 提出内容 ◆】

	作成する書類（様式）	県協会事務局へ提出
演習事例（演習用）提出 シートA又はシートB	地域包括支援センター又は居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員の方はシートA それ以外の方（包括・居宅以外の方）はシートBを1部提出して下さい。 （地域ケア会議又は事例検討会等で指導した事例も含めます。）	1部 （両面印刷）
事例提供に関する 誓約書・同意書	バイジーとバイザーが押印した用紙（原本）をバイジーに手渡し、コピー分を県事務局へ提出して下さい。	1部（コピー）

書式は必ず所定の枠内におさめて、A4サイズ表裏1枚（両面コピー）にまとめて提出してください。